

2025年度 活動方針・事業計画

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題に取り組み、SDGsの達成に寄与していきます。
- ・環境情報誌「なにわエコウェーブ」の充実や、積極的な情報発信や、情報共有を通じて、会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深め、なにわエコパートナーの拡大を図ります。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「地域と連携した環境教育啓発活動の推進」、「生物多様性の発見と行動の推進」を活動の柱とします。
- ・「環境ふれあいひろば」、「協働セミナー」など「なにわエコ会議」活動に当たっては、4部会が協働して実施します。

2 事業計画

【全体活動】

- (1) 各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化
各種イベントの開催と参加を通じて、環境啓発活動に努める。
- (2) 若い世代の参加の促進
「環境ふれあいひろば」や大阪市小学校の「理科特別授業」として、食品ロス問題を考える出前講座、「夏休み自由研究 おおさか環境科」、「淀川自然探検隊」などを実施し、若い世代の環境啓発に努める。
学生会員団体である「環境保護・国際協力サークル CHOVORA!!」の積極的なかかわりをサポートする。
- (3) 環境情報誌の発行
環境情報誌「なにわエコウェーブ」の発行。（年2回 各8,000部）
- (4) ICTの活用による情報発信
なにわエコ会議ウェブサイトの新着情報やSNSによる情報発信。
- (5) 啓発ツールの活用
副読本「おおさか環境科」の啓発ツールや、独自に開発した啓発ツール「エコすごろく」「エコ紙芝居」「なぞなぞ帳」など、イベント等で活用するとともに、

カードゲーム「食べ残しNOゲーム」を活用し、楽しみながら食品ロスを考える機会を提供する。

市民向け省エネ対策集「楽しくかしこくエコライフ：改定版」（冊子）や企業向け「電気の省エネ対策集」（冊子）を活用し、家庭や企業の省エネ等の普及に努める。

なにわエコ会議作成のLINEスタンプ「それってエコやん【関西弁、大阪弁】（24スタンプ）」やオリジナルファイルの活用

(6) 第9回 なにわエコ会議賞の表彰

さまざまな地球環境問題に関する環境活動の実践に積極的に取り組んでいる方やなにわエコ会議の活動に積極的に参画している方などを表彰し、環境保全活動の推進を図る。

(7) なにわエコ会議参画団体等との連携

23年度から進めている協働取組みを継続発展に努め、大阪・関西万博の機運醸成に寄与する。

24年度実績：環境アクションにチャレンジする連続講座

12月1日ごみを減らして、生き物と地球を守ろう！

主催 なにわエコ会議

協力 (一社) ガールスカウト大阪府連盟

NPO法人南港ウェットランドグループ

団体会員等と協働した取組みを行う。

事務局の定例会議において、部会間の意見を聞く機会を設け、会員団体の取組み状況などの情報交換を積極的に行う。

(8) 環境ふれあいひろばの開催

大阪市内各区での、なにわエコ会議の知名度アップ及び、地域住民に対する環境やSDGsの啓発を目的として、エコ会議の各部会、団体会員、地域活動団体等が出席するイベントを開催する。

【エコライフ部会】

気候変動により、世界各地で様々な気候災害が発生しています。

この傾向を押さえるためには、気温上昇を1.5℃内にコントロールする（産業革命以前に比べて）ことが求められます。

また、生物多様性も損なわれています、というより生物多様性の減少は加速しており、生態学的に地球を壊しつつあります。

これが、**プラネタリーバウンダリー（地球の限界）** というものです。

地球の限界を超えて資源が消費されて、人間が依存する自然環境（バイオスフィア）に回復不可能な変化が出ています。

今、私たちが自分の生活スタイルを変化させ、この不可逆的な変化に歯止めをかけることが必要です。

地球の生命は最近の6億年間では少なくとも5回、大規模な絶滅を経験しています。

その5回目は隕石衝突による恐竜絶滅でしたが、今回の全生命クラッシュを齎すものが私たち人類の資源多消費型スタイルによると言われています。

この生活スタイルを見直し、本来の意味のエコライフを実現させることが、プラネタリーバウンダリーを引き延ばし、プラネタリーヘルスを目指すことに挑戦すべきです。

1. 地球温暖化に対する活動（地球の健康）

(1) 衣料を中心とする消費財の取り組み（衣類消費で排出するCO2は全体の10%）

- ①ファッション性の高いものは、購入ではなく、サブスクリプションを活用。
- ②衣料は、単一素材のものを選び、リサイクルする。
- ③消費財は、リフィルのあるものを使い、容器類は、分別・リサイクル等に回す。
- ④買い物は、いつもマイバッグを持参する。→マイバッグキャンペーン
- ⑤アップサイクルされたものを利用する。

(2) 食料品に対する取り組み（食料品関連で排出するCO2は全体の12%）

- ①蛋白質を摂る場合、できる限り植物性で摂り、動物性を減らす。
◎アニマルウェルフェアを考慮
- ②動物性蛋白質を摂る場合の優先順位：（代表例）魚>鶏>豚・羊>牛
- ③放牧のために森林破壊を起こしている。
◎ファクトリーファーミングから、輪換放牧へ
- ④牛のゲップ（CH4）は、温暖化ガスシェアの4%もある。
- ⑤できる限り、国産のもの、地産地消や旬産旬消を。→食べ残しNOゲームの活用等

(3) 住についての取り組み（住関連で排出するCO2は全体の17%）

- ①断熱構造を高める、太陽光発電等の導入、住宅のZEH（ゼロエネルギーハウス）化など、構造的に減らす。
- ②こまめな節電（節電タップの活用など）

③あの手この手：照明器具の清掃、長年使った冷蔵庫は省エネ型に変更、節水型トイレ、壁紙やカーテンを明るい色に、打ち水、風鈴、鈴虫。など

(4) 移動についての取り組み（移動で排出するCO₂は全体の 12%）

- ①車は自己所有から共同使用やサブスクリプションの活用。
- ②エネルギーは、ガソリン・軽油から電気（・水素）へ（航空機燃料も再生燃料化の時代）
- ③公共交通機関の活用、歩く、自転車の活用。
- ④リモートワークやオンライン会議の活用

これら、衣・食・住・移動という個人（家庭）のライフスタイル分野において、CO₂排出量全体の 50%以上を出しています。（注：サービス、レジャーのカウントを除く）

この4分野から温暖化対応エシカルライフの啓発と推進をいたします。

2. エコライフを支える活動（人の健康）

「本気のラジオ体操」を活用した健康活動

エコライフを持続するためには、できる限り健康な身心でいることが大切です。

そのために、「本気のラジオ体操」を活用した健康活動を推進します。

ラジねえ。こと上羽悠雅さんのメソッドを活用（200 の骨 400 の筋肉を活性化させる）

- ① ラジオ体操を取り入れた健康増進セミナー
- ② 老いに品格を添えるセミナー
- ③ 歩き、健康を作るセミナー

(主な活動)

地球温暖化に対するエコライフセミナー、本気のラジオ体操」を取り入れた健康増進セミナー、「レジ袋削減協定」の活動（協定が見直された場合はその内容に沿う活動）、食べ残し NO ゲーム（環境教育・啓発部会との協働）、環境ふれあいひろば（全体活動）、協働団体等への出展など

【環境教育・啓発部会】

環境問題に関心を持ち活動している個人・団体と連携を深めつつ、地域に根差した環境教育啓発活動を推進します。同時に若い世代の参加を促進します。

- (1) 市内各区・団体等のイベントに積極的に参加するとともに、地域に根差した取り組みを進めます。
 1. 「大阪市こどもカーニバル」に参加出展する。
 2. 「わくわく夏休みお助け隊」に参加出展する。
 3. 「咲洲子ども EXPO」に参加出展する。
 4. 「鶴見区民まつり」に参加出展する。
 5. 「エコ縁日」に参加出展する。
 6. 「愛光フェスティバル」に参加出展する。
- (2) 「脱炭素社会」や「プラスチックごみ減量」「SDG s」などをとりいれた、環境教育・啓発活動をさらに推進します。
 1. 「レジ袋削減協定」の活動（協定が見直された場合はその内容に沿う活動）に参加する。
 2. 「南港野鳥園、清掃活動」に参加する。
 3. 風呂敷包みの講習会を実施する。
- (3) 大阪市の副読本「おおさか環境科」や「食べ残し NO ゲーム」などを活用した出前講座を実施します。
 1. 「夏休みの宿題応援 おおさか環境科」を実施する。
 2. 「食べ残し NO ゲーム」を実施する。
- (4) 「エネルギー関連実験機材」「エコすごろく」「自然工作」などを活用し、効果的な環境教育・啓発活動を推進します。
 1. 「電車でGO！」を実施する。（手回し発電で電車を走らせる）
 2. シニア自然大学と共同で「自然工作」を実施する。
- (5) 上記の活動に当たっては、教育機関や PTA、環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。
 1. 「環境保護・国際協力サークルCHOVORA!」（大阪公立大学）との協働
 2. 大阪産業大学の学生との協働
 3. 活動する地域への広報活動をする。
- (6) 環境問題全般について、部会員の学習を深めます。
 1. 事務局からのセミナー等の案内を部会員で共有し、積極的に参加する。
 2. 部会内での学習会・施設見学会を実施する。

(主な活動)

大阪市こどもカーニバル、わくわく夏休みお助け隊、あべのキッズサマープロジェクト

ト、咲洲子ども EXPO、鶴見区民まつり、エコ縁日、レジ袋削減協定」の活動、南港野鳥園 清掃活動、夏休みの宿題応援 おおさか環境科、食べ残し NO ゲーム（内容に応じて、エコライフ部会、生物多様性部会と協働）

【環境に配慮した企業部会】

脱炭素社会や資源循環型社会など持続可能な経済社会の構築に向けて、企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進し、SDGs達成に貢献していきます。

- (1) 脱炭素社会推進やプラスチックごみ削減など大阪市の環境関連施策に協力していきます。
- (2) 大阪市環境経営推進協議会の環境活動（セミナーや視察研修会など）に協力していきます。
- (3) エコアクション 21認証取得及びレベルアップを目的としたEA21スクール（講習会）を実施します。
- (4) CO2削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペの実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。また、表彰式と併せて環境セミナーを開催します。
- (5) 事業者からの希望に応じて、SDGsやESG経営などの取り組みについて、オンライン相談や訪問相談による支援を行います。

（主な活動）

エコアクション 21 スクール、CO2削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペ（表彰式、セミナー）、環境経営伴走支援（オンライン相談や訪問相談）、環境ふれあいひろば（全体活動）など

【生物多様性部会】

生物多様性部会が新たな部会として作られた 2019 年以来、主に子どもと保護者を対象とした活動をしてきました。2025 年度も同様な活動を行います。

部会員が少ないことから、他部会の方や団体、大阪公立大学ボランティアグループ CHOVOORA!!等の協力もいただきながら実施していく予定です。また、部員の勧誘を積極的に行います。皆さまのご協力をお願いします。

(1) 図書館水生生物標本等展示及び講演

水生生物標本等展示及び川と生物と河川環境との関係についての講演を行い、水域の生物の多様性を実感してもらう。1 図書館で実施します。

(2) 淀川自然探検隊 2025

淀川河口について、陸域、水域の生物多様性について、数回の観察会をとおして生物多様性を楽しく実感してもらう。内容としては石干見漁、魚釣り体験、淀川水系上流水生生物観察を行う。活動準備、安全監視等について、CHOVOORA!!さんの協力を予定している。参加者のアンケートでは活動を継続してほしいとの意見がありました。

(3) E C O 緑日（環境教育・啓発部会共催）

水生生物標本等の展示を行い、生物多様性について啓発する。

(4) 環境ふれあいひろば

水生生物標本等の展示を行い、生物多様性について啓発する。

(5) 南港野鳥園清掃・鳥類観察（エコライフ部会共催）

南港野鳥園でのプラスチックごみの回収及び野鳥の観察を行う。プラスチックの海洋汚染について問題を共有するとともに、生物多様性について観察する。

(6) 生物多様性ネットワーク会議

大阪市生物多様性保全に向けたネットワーク会議に参加し、大阪における生物多様性について知識を深める。

(7) 「なにわ子ども育成会」の活動に可能な範囲で協力して、自然観察を行うとともに、生物多様性について啓発する

(主な活動)

図書館水生生物標本展示及び講演、淀川自然探検隊 2025、E C O 緑日、環境ふれあいひろば、南港野鳥園清掃・鳥類観察、生物多様性ネットワーク会議、「なにわ子ども育成会」への協力

実施を検討する活動

大阪市子どもカーニバル、わくわく夏休みお助け隊、咲洲こども EXPO